

宝篋印陀羅尼

全文・ふりがな・唱え
方

宝篋印陀羅尼とは

『一切如来心秘密全身舍利宝篋印陀羅尼經』に説かれる陀羅尼です。日本では読誦・書写・造塔・供養と結びつき、仏の教えを保持する尊い言葉として伝えられてきました。

このPDFの読み方

2～3ページに、ひらがなで区切った読誦例を掲載しています。4ページには、初心者向けの唱え方と注意点をまとめました。

※読み方・濁音・長音・区切り方には、宗派・寺院・経本による違いがあります。本PDFは読誦例の一つであり、唯一の正式表記ではありません。寺院で唱える場合は、その寺院の経本と読誦音に従ってください。

宝篋印陀羅尼 全文（ふりがな） 1/2

のうまく しっちりや ちびきゃなん
さらば たたぎゃ たなん
おん ぼびばんば だばり
ばしゃり ばしゃたい
そろそろ だらだら
さらば たたぎゃ た だ と だ り
はどまん ばんばち
じゃや ぼり ぼ だ り さん ま ら
た た ぎ ゃ た た ら ま し ゃ き ゃ ら は ら ぼ り た の う
ば じ り ぼ う ち ま ん だ り ょ う き ゃ ら り ょ う き り て い
さ ら ば た た ぎ ゃ た ち し ゅ ち て い
ぼ う だ や ぼ う だ や
ぼ う ち ぼ う ち
ぼ ち ゃ ぼ ち ゃ
さん ぼ う だ に
さん ぼ う だ や
し ゃ ら し ゃ ら し ゃ ら ん ど
さ ら ば ば ら だ に

次のページへ続きます

宝篋印陀羅尼 全文（ふりがな） 2/2

さらばはんばびぎゃてい
ころころ
さらばしゅきゃびぎゃてい
さらばたたぎゃたきりだや
ばざらに
さんばらさんばら
さらばたたぎゃたぐきゃだらんぢぼぢり
ぼでいそぼでい
さらばたたぎゃたぢしゅちただどぎゃらべいそわか
さんまやぢしゅちていそわか
さらばたたぎゃたきりだやだどぼだりそわか
そはらちしゅちたそとべいたたぎゃたぢしゅちてい
ころころうんうんそわか
おんさらばたたぎゃたうしゅにしゃだどぼだらに
さらばたたぎゃたんさだどびぼうしたぢしゅちてい
うんうんそわか

読誦例の出典確認：高野山真言宗・宝泉寺「三陀羅尼」 <https://gohonmatsu.or.jp/dharani/>

初心者向け 唱え方5ステップ

1 静かな場所を整える	手を洗い、無理のない姿勢で呼吸を落ち着けます。
2 出典の分かる経本を開く	寺院の読誦例や信頼できる経本を用意します。
3 陀羅尼部分を確認する	経典全体と、経中の陀羅尼部分を区別します。
4 一音ずつ丁寧に唱える	速さや回数を競わず、息継ぎしながら読みます。
5 合掌して静かに結ぶ	自分や家族、亡き人、すべての存在の安穩を願います。

唱えるときの注意点

- 読み間違えても、祟りが起きる・願いが無効になると恐れる必要はありません。気づいた箇所を読み直すか、落ち着いて続けましょう。
- 体調が悪いときや喉に負担があるときは、無理に声を出さず黙読でも構いません。運転中・入浴中・飲酒時など集中できない場面は避けます。
- 経典に説かれる功德は仏教信仰上の教えです。病気や事故などの問題は、読誦だけに頼らず医療機関や専門窓口へ相談してください。
- 梵字の書写や寺院への奉納を希望する場合は、自己流ではなく寺院や専門家の案内を確認しましょう。

制作：micane.jp | 記事「宝篋印陀羅尼の全文と意味」掲載用資料